

千葉県議会議員

小宮清子のさわやかメール

発行 社民・県民連合議員団 小宮清子報告版

事務所 流山市平和台2-4-3 広葉ビル201 TEL・FAX04-7159-3781
E-mail hikomiya2006@yahoo.co.jp

No.36



生きがちな人づくりを推進

4月の県議会議員選挙では、力強い御支援をいただき当選することができ、私の県議会議員三期目の活動が始まりました。具体的施策の実現によって県政が県民生活の中に実感できるようにしたい。どのような高齢期を迎えても(たとえ一人暮らしでも、たとえねたきりでも、認知症でも)人間らしく生き抜ける千葉県にしたい。障害を持つ人への差別のない、そして、どのような障害を持つ人にも安心して暮らせる千葉県にしたい。いただいた票の重み、寄せられた期待、しっかりと受け止め、前進してまいります。県政のすみずみまで、人が人らしく生きぬくことのできる千葉県にしたいのです。

県政の前進を!

常任委員会は 商工労働・ 企業に所属

商工労働部と企業庁の常任委員会に所属しました。商工労働部の展開する施策は、新産業の創出事業、ちば中小企業元気戦略の推進、観光立原ちばの推進、雇用労働施策

……等 広い範囲にわたっています。特に力を入れた課題は、雇用問題と中小企業施策です。中小企業に力がついて、街に活気があふれ、働く人達が安心して、人間らしい働き方ができるようなにしたいものです。今、私達の社会はワーキングプア、ニート、ネットカフェ難民等、つらく、きびしい現実をつきつづられて生きている人が増え続けています。格差というよりは、弱肉強食の社会です。働くこと

いうことは生活を支えることそのものです。雇用問題とむきあって活動します。

どちらかというとわかりにくい、見えにくいのが企業庁ですが、企業庁は時代の推移とともにその役割は大きく変わり県内で展開している土地造整と販売事業の収束にむかっています。が、いろいろ問題も多い状況です。また、三番瀬の大きな課題である漁協への転業準備資金の問題等困難な課題もかかっています。

ちば仕事プラザを訪ねて



商工労働部には多くの関連施設があり、具体的事業を展開しています。さっそく、6月7日、「ちば仕事プラザ」に行きました。(総武線幕張本郷駅からバス)〇「何をしたらいいのかわからない、仕事をやる意味がわからない……」という若者の自立支援。子供が仕事に就かないので心配だ」という親からの相談事業等を行っている。〇シニア世代の活用を考えている企業からの相談、退職後の働き方を探している人への就業支援を行っている。〇生涯現役サポートセンター。〇仕事と家庭生活、子育てを両立したいと願う女性たちへの支援を行っている。子育てお母さん再就職支援センター。〇ここにはマザーズハローワークが併設。以上のように仕事プラザはどちらかというと、就職へのハードルが高い、定年退職後の方、ニートと呼ばれる若者、女性の再就職を支援する事業を展開しています。ここ仕事プラザを利用して一人でも多くの方が働く場を見つけてほしいと思います。しかし、県内に一カ所のため遠くに行くのが大変な方も多く、せめてもう一カ所増やしてほしいということ、もっと県民の方に仕事プラザの存在を知らせなければもったいないと思いました。